

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第42週に38件の報告がありました。減少傾向ですが、感染の再拡大を防止するため、引き続き、手洗いやマスク着用、換気などの基本的な感染防止対策を徹底しましょう。

2 手足口病

定点当たり2.79人の報告があり、前週の約1.8倍に増加しました。手足口病は、接触感染や飛沫感染などで感染し、乳幼児を中心に流行します。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

3 ヘルパンギーナ

定点当たり2.33人の報告があり、増加が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

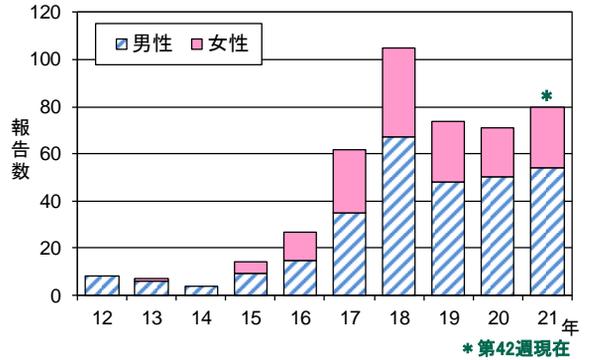
4 梅毒

今年の累計は80件となり、昨年の年間報告数(71件)を超えています。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがありますので、早期発見・早期治療が大切です。

【参考】保健センターの無料・匿名の梅毒検査

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>

梅毒の発生動向の推移(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減								
												急増減	増減	微増減						
小児科	インフルエンザ	1	0.03	0.23		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.22		急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減					
小児科	咽頭結膜熱	-	-	0.30		小児科	RSウイルス感染症	2	0.08	0.83		増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.33	1.69			急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↖	↗	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減					
	感染性胃腸炎	53	2.21	4.06	↖		流行性角結膜炎	5	0.63	0.63		横ばい	↔		ほとんど増減なし					
	水痘	3	0.13	0.20		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。								
	手足口病	67	2.79	1.43	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-		<table border="1"> <tr><td>インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)</td><td>37</td></tr> <tr><td>小児科定点数</td><td>24</td></tr> <tr><td>眼科定点数</td><td>8</td></tr> <tr><td>基幹定点数</td><td>7</td></tr> </table>	インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37	小児科定点数	24	眼科定点数	8	基幹定点数	7
	インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37																		
	小児科定点数	24																		
	眼科定点数	8																		
基幹定点数	7																			
伝染性紅斑	-	-	0.12		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11												
突発性発しん	6	0.25	0.44		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-												
ヘルパンギーナ	56	2.33	0.33	↖	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-												

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	69	60歳代、90歳代
4	A型肝炎	1	2	80歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	9	50歳代
5	梅毒	4	80	30歳代・1人、40歳代・3人
5	破傷風	2	2	60歳代、80歳代

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告地	週次	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎		
			広島市	第38週	-	2	4	56	3	19	1	4	21	1	6	-	5	-	-	-	-	-	-
広島市	第39週	-	4	7	57	1	16	-	5	27	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島市	第40週	-	1	5	48	1	25	1	6	39	-	1	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	
広島市	第41週	-	2	6	45	3	38	1	5	44	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島市	第42週	1	-	8	53	3	67	-	6	56	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第38週	-	0.08	0.17	2.33	0.13	0.79	0.04	0.17	0.88	0.04	0.25	-	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第39週	-	0.17	0.29	2.38	0.04	0.67	-	0.21	1.13	0.08	0.08	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第40週	-	0.04	0.21	2.00	0.04	1.04	0.04	0.25	1.63	-	0.04	-	0.63	0.14	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第41週	-	0.08	0.25	1.88	0.13	1.58	0.04	0.21	1.83	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第42週	0.03	-	0.33	2.21	0.13	2.79	-	0.25	2.33	-	0.08	-	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	第40週	-	0.08	0.44	2.15	0.08	1.53	0.01	0.34	0.61	0.05	0.48	0.01	0.22	0.03	0.02	0.01	-	-	-	-	-	-
全国	第41週	-	0.10	0.48	2.30	0.09	1.71	0.01	0.38	0.71	0.05	0.43	-	0.22	-	0.02	0.01	-	-	-	-	-	-

■新たに判明した病原体検出状況

(検査：広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(37.7℃) 嘔吐 哺乳不良 下痢 活気不良 末梢冷感 網状発疹	0	2021/06/03	糞便	アデノウイルス41型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.7℃) 咽頭炎 下痢	39	2021/06/06	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第42週(10月18日～10月24日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	合計
4	2	8	5	2	7	3	5	2	-	38

【累計報告数(10月24日)現在】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	合計
645	1,180	3,220	2,067	2,059	1,639	985	744	539	67	13,145

「風邪かな?」と感じたら、かかりつけ医や
コールセンター(積極ガードダイヤル)TEL:082-241-4566 に連絡・相談しましょう。

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ
「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2021年第42週(10月18日～10月24日)